



製品名 : 液体苛性ソーダ(25%)

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	液体苛性ソーダ 25%
会社名	埼玉薬品株式会社
住所	埼玉県さいたま市見沼区卸町1-43
電話番号	048-686-5221
FAX番号	048-686-3332
整理番号	AIT-0702
推奨用途及び使用上の制限事項	工業用原料 食品添加物

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

物理化学的危険性

引火性液体	: 区分に該当しない
自然発火性液体	: 区分に該当しない
自己発熱性化学品	: 区分に該当しない
水反応可燃性化学品	: 区分に該当しない
酸化性液体	: 区分に該当しない
金属腐食性	: 区分1

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	: 区分3
皮膚腐食性/刺激性	: 区分1
眼に対する重篤な損傷性 /眼刺激性	: 区分1
発がん性	: 区分に該当しない
生殖毒性	: 区分に該当しない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 区分1(呼吸器)

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期(急性)	: 区分3
水生環境有害性 長期(慢性)	: 区分に該当しない
オゾン層への有害性	: 分類できない

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H290	: 金属腐食のおそれ。
H301	: 飲み込むと有毒。
H314	: 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷。
H318	: 重篤な眼の損傷。
H370	: 臓器(呼吸器系)の障害。
H402	: 水生生物に有害。

注意書き

安全対策

P234	: 他の容器に移し替えないこと。
P260	: ミスト/蒸気を吸入しないこと。
P264	: 取扱い後は手をよく洗うこと。
P270	: この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
P273	: 環境への放出を避けること。
P280	: 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置

- P301+P310 : 飲み込んだ場合は、直ちに毒物センター／医師に連絡すること。
P301+P330+P331 : 飲み込んだ場合は、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
P304+P340 : 吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させ、直ちに医師に連絡すること。
P305+P351+P338 : 眼に入った場合は、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて安易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
P303+P361+P353 : 皮膚(または髪)に付着した場合は、直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水／シャワーで洗い、直ちに医師の手当てを受けること。
P310 : 直ちに医師に連絡すること。
P390 : 物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。

保管

- P405 : 施錠して保管すること。
P406 : 耐腐食性／耐腐食性内張りのある容器に保管すること。

廃棄

- P501 : 内容物／容器を現地、地域、国、国際規則に従って廃棄すること。

GHS 分類に関係しない又はGHS
で扱われない他の危険有害性

- <人の健康に対する有害性>
: 蛋白質を分解する作用があり、付着物を完全に除去しない限り、次第に深い組織に損傷が及ぶ恐れがある。
: 眼に入ると視力の低下や失明することがある。
: 希釈溶液であっても、繰り返し皮膚と接触すると、皮膚表面の種々の組織を侵し、直接刺激性の皮膚炎や慢性湿疹の症状がある。
: 高濃度の場合、急激に局所を侵食する。
: ミストを吸入すると気道の刺激症状がある。
: 誤って飲み込んだ場合、口腔/喉/食道/胃などに炎症を起こす。
: なし。

その他の情報

重要な徴候及び想定される非常事態の概要
重要な徴候

- : 焼けるような痛みおよび重篤な腐食性の皮膚損傷。
: 重篤な眼の損傷。
: 症状には、刺すような痛み、流涙、充血、はれ及び眼のかすみなどがある。
: 失明等の永久的な眼の損傷がおこる可能性がある。

非常事態の概要

- : 金属腐食のおそれ。
: 飲み込むと有毒。
: 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。
: 臓器の障害。
: 水路に排出されると環境に対して危険である。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	CAS番号	官報公示整理番号		含有量(%)
		化審法	安衛法	
水酸化ナトリウム	1310-73-2	(1)-410	(1)-410	25%以上

4. 応急処置

- 吸入した場合 : 直ちに医師の手当てを受ける。
: 微粒子やミストを吸入した場合は、ただちに新鮮な空気のある場所に移し、暖かく安静に保ち、可能であれば酸素吸入を行う。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類すべてを直ちに脱ぐ。
: 石けんと水で洗い流す。ただちに医師の手当てを受ける。
: 大量の水および石鹼または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い流す。
: 医師の指示なしに、薬傷部に油類その他の薬を塗ってはならない。
- 眼に入った場合 : 直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
: まぶたの裏まで完全に洗うこと。

飲み込んだ場合	: 直ちに医師に連絡すること。 : 患者に吐かせようと試みると、浸されて薄くなった胃壁が破れることがあるので、絶対にしてはならない。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	: 出来るだけ多量の水を飲ませ、速やかに医師の手当を受ける。 : 医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。この安全データシートを担当医に見せる。
医師に対する特別な注意事項	: 症状にあった治療を施す。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	: この製品は、不燃性である。 : 周辺火災発生時には、その状況に応じて適切な消火剤を用い消火を行う。
使ってはならない消火剤	: なし。
特有の消火方法	: 風上から消火活動を行う。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	: 適切な保護具を着用する。
特定の消火方法	: 移動可能な容器は、安全に行える限り火災場所から搬出する。 : 移動が不可能な場合には、容器または周囲に散水し冷却する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	: 極めて腐食性が強いので、作業の際は必ず適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。
環境に対する注意事項	: 濃厚な排液を河川等に排出しないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	: 水路、下水道、地下または密閉された場所へ流入を防ぐ。 : 製品を排水施設に流してはならない。 : 少量の漏出の場合は、漏洩した液を多量の水で十分に希釈し、洗い流す。 : 大量の漏出の場合は、砂の障壁等でこぼれた物質を止め、安全区域（区域）に導き、集める。 : パーミキュライト、砂、土などの不燃性物質に製品を吸収させて容器に回収し、後で廃棄する。 : 製品回収後、その付近を水で洗い流す。必要があれば、さらに中和し、多量の水で洗い流す。 : 絶対に流出物を元の容器に回収して再使用してはならない。 : 廃棄物の廃棄方法については、本SDSの項目13を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策(局所排気、全体排気等)	: 換気の良い場所で取り扱う。
安全取扱い注意事項	: 極めて腐食性が強いので、作業の際は必ず適切な保護具(ゴム手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル、ゴム長靴等)を着用する。 : 取り扱い後は手・顔等は良く洗い、休息所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。 : 容器はその都度密栓する。 : 作業場所に緊急時のシャワー及び洗眼の装置を取り付け、その位置を明瞭に表示する。 : 漏れ、溢れ、飛散しないように、慎重に取り扱う。 : 使用中は飲食や喫煙をしない。 : 水酸化ナトリウムは、アルミニウム、スズ、亜鉛などの金属と反応して可燃性の爆発性の水素ガスを発生する。
接触回避 衛生対策	: 強酸化剤。酸性物質。金属類。詳細については、本SDSの項目10を参照。 : 飲食物から遠ざける。 : 本物質を取り扱った後、飲食や喫煙をする前に手を洗うなど、常に適切な衛生措置をとる。汚染物質を取り除くために定期的に作業衣と保護具を洗う。
保管	
安全な保管条件	: 本製品はアルカリ性であるので、酸性物質と混合する危険がある場所で貯蔵または保管しない。 : 毒物劇物取締法に基づき、「毒物及び劇物の貯蔵に関する構造・設備基準」に従うこと。 : 気温が下がると、凝固することがある。 : 空気中の湿気や炭酸ガスを吸収して品質が低下するので密栓して保管する。 : 最初の容器中でのみ保管する(容器を移し替えてはならない)。 : 基準の主な内容は下記の通り

- (タンク) オーバーフロー防止するため液面計を設ける。
最大貯蔵量は最大貯蔵能力の95%とする。
- : (防液堤) 容積はタンク容量の100%相当とし、2基以上のタンクがある場合には最大タンクの容量の100%相当とする。
- : (受入口) ローリーホース等との接続は、フランジ接続、ねじ込み接続等とする。
保管場所と取り扱い場所の近くに、洗浄、手洗い設備を設置すること。
- 安全な容器包装材料 : 元の容器に密閉して保管する。耐腐食性/耐腐食性内張りのある容器に保管すること。
- : 外装: ステンレスローリー 内装: ステンレスローリー

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等 : データーなし。

ばく露限界値

日本産業衛生学会－許容濃度

成分	タイプ	数値
水酸化ナトリウム (CAS1310-73-2)	最大許容濃度	2 mg/m ³

米国, ACGIH 限界値

成分	タイプ	数値
水酸化ナトリウム (CAS1310-73-2)	最大許容濃度	2 mg/m ³

設備対策

- : 装置は耐腐食性のある材質を用いて作ること。
- : 腐食性物質に作業者が直接触れたり、暴露したりしないような配慮をすること。
- : 作業場所に緊急時のシャワー及び洗眼の装置を取り付け、その位置を明瞭に表示する。
- : 屋内で作業する場合は、作業者が直接暴露しない設備とするか、または局所排気装置によって作業者が暴露を避けることができる設備にする。

保護具

呼吸用保護具

: 適切な呼吸用保護具を着用する。

手の保護具

: ゴム製手袋。

眼, 顔面の保護具

: サイドシールドのついた安全眼鏡(またはゴーグル)を着用する。

皮膚及び身体の保護具

: ゴム製の保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 液体
- 色 : 無色ないし灰色
- 臭い : 無臭
- 融点/凝固点 : データなし。
- 沸点又は初留点及び沸点範囲 : 138°C (280.4F) (48%)
- 可燃性 : 該当なし。
- 爆発下限界及び爆発上限界/可熱限界
 - 爆発限界-下限 (%) : データなし。
 - 爆発限界-上限 (%) : データなし。
- 引火点 : 不燃性
- 自然発火点 : データなし。
- 分解温度 : データなし。
- pH : データなし。
- 動粘性率 : データなし。
- 溶解度
 - 溶解度(水) : 易溶
- n-オクタノール/水分配係数(log値) : データなし。
- 蒸気圧 : データなし。
- 密度及び又は相対密度
 - 密度 : 1.50g/cm³(48%)
 - 比重 : データなし。
- 蒸気密度 : データなし。
- 粒子特性 : データなし。

10. 安定性及び反応性

安定性	: 金属腐食のおそれ
化学的安定性	: データなし。
危険有害反応可能性	: 水又は酸と接触すると、溶解熱又は中和熱を発生し、激しく発熱する。(中和熱 57.6j/mol) : 本製品はアルカリ性であるので、酸性物質と混合する危険がある場所で貯蔵または保管しない。
避けるべき条件	: 混触危険物質との接触。
混触危険物質	: 強酸。強酸化剤。酸性物質。金属類。クロム。アルミニウム。亜鉛。スズ。
危険有害な分解生成物	: データなし。

11. 有害性情報

急性毒性	: 飲み込むと有害。	
成分	種	試験結果
水酸化ナトリウム(CAS 1310-73-2)	ヒト	80 - 167 mg/kg ヒトの致死量(体重60kg) (固形水酸化ナトリウム)
急性LD50	ウサギ	325 mg/kg (固形水酸化ナトリウム)
	マウス	40 mg/kg (腹腔内)(固形水酸化ナトリウム)
皮膚腐食性/刺激性	: 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。(区分 1)	
刺激性腐食性 - 皮膚水酸化ナトリウム	: 1 mg/日 (24時間適用), (固形水酸化ナトリウム) : 結果 : 重度の刺激 : 種 : ウサギ	
腐食性水酸化ナトリウム	: 強アルカリ性で腐食性が強い, (固形水酸化ナトリウム)	
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 重篤な眼の損傷。(区分 1)	
呼吸器感作性又は皮膚感作性		
呼吸器感作性	: データが部分的または完全に欠如しているため分類できない。	
皮膚感作性	: 入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。	
生殖細胞変異毒性		
哺乳類細胞のIn vitro遺伝子突然変異試験		
水酸化ナトリウム	結果: 陰性	
変異原性水酸化ナトリウム	: (OECD482)DNA損傷修復試験, (固形水酸化ナトリウム) 結果: 陰性	
生殖細胞変異原性: エームス試験		
水酸化ナトリウム	: (OECD471) 結果: 陰性	
発がん性	: 日本産業衛生学会、ACGIH、NTP、IARCのいずれも記載なし	
生殖毒性	: データが部分的または完全に欠如しているため分類できない。	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 臓器(呼吸器)の障害。(区分 1)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: データが部分的または完全に欠如しているため分類できない。	
誤えん有害性	: データが部分的または完全に欠如しているため分類できない。	
その他の情報	: 強アルカリ性で腐食性が強い。 : 人についての症例: 接触による傷や粘膜は、酸と比較してアルカリのタンパク質に対する溶解性に基づいているため、一般的に傷の表面は湿潤であり、潰瘍は深く、かつ進行しやすい。したがって、それは酸による薬傷よりも重症/重篤である。	

12. 環境影響情報

環境影響データ		
成分	種	試験結果
水酸化ナトリウム(CAS 1310-73-2)		
水生		
魚類	: カダヤシ	125 ppm, 24 時間 125 ppm, 48 時間
	: ブルーギル	42 ppm, 48 時間
	(レボミス・マクロキルス)	9.9 ppm, 96 時間

急性			
甲殻類	EC50	: ミジンコ	>= 34.59 - <= 47.13 mg/l, 48 時間 (キレオネコゼミジンコ)
魚類	LC50	: カダヤシ	125 mg/l, 96 時間
生態毒性			: 水生生物に有害。本製品の成分は水生生物に対して毒性である。漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。
残留性・分解性			: データなし。
生体蓄積性			: データなし。
土壤中の移動性			: データなし。
オゾン層への有害性			: データなし。
他の有害影響			: 強アルカリ性で環境にとって有害である。 : 漏洩した時は、魚介類、動物、植物に対して注意する。

13. 廃棄上の注意

毒物及び劇物取締法

「毒物及び劇物の廃棄の方法に関する基準」に従って処理する。

残余廃棄物

- : 残った製品(残余廃棄物)は、廃棄物の処理および清掃に関する法律、及び、都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。
- : 現地の規定に従い、処分する。
- : 容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- : 委託処理を行う場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者と契約すること。
- : 排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。
- : 攪拌しながら、水を加えて希薄な水溶液にして、酸(希塩酸、希硫酸など)で中和させた後、大量の水で希釈して処理する。
- : 廃アルカリは、特別管理産業廃棄物に指定されているので、収集、運搬、処分は定められた基準に従って処理すること。

汚染容器及び包装

- : 許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して廃棄処理をする。
- : 製品の残余物が残っているかもしれないので、容器が空になった後もラベルの警告に従う。
- : 空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、承認された廃棄物処理施設に運ばなければならない。

地域の廃棄規制

- : 廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。
- : 本物質を下水 / 水道供給経路に流入させてはならない。
- : 薬剤または使用済容器で、池、水路、溝を汚染しないこと。
- : 内容物 / 容器を現地、地域、国、国際規則に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

IATA

UN number	: 1842
UN proper shipping name	: Sodium hydroxide solution (Sodium hydroxide)
Transport hazard class(es)	
Class	: 8
Subsidiary risk	: -
Packing Group	: II
Environmental hazards.	: No
ERG Code	: 8L
Special precaution for user	: Read safety instructions, SDS and emergency procedures before handling.
Other information	
Passenger and cargo aircraft	: Allowed with restrictions.
Cargo aircraft only	: Allowed with restrictions.

IMDS

UN number	: 1824
UN proper shipping name	: SODIUM HYDROXIDE SOLUTION (Sodium hydroxide)
Transport Hazard class(es)	

Class	: 8
Subsidiary risk	: -
Packing Group	: II
Environmental hazards.	
Marine pollutant	: No
Ems	: F-A,S-B
Special precaution for user	: Read safety instructions,SDS and emergency prosedures before handling.

MARPOL73/78付属書Ⅱ及び
IBCコードによりばら積み輸送される液体物質 : 未確定。

一般情報 : 消防法、労 安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの
該当法律に定められる運送方法に従うこと。
航空法の定めるところに従うこと。
船舶安全法に定めるところに従うこと。

IATA;IMDG



国内規制 : 国内輸送については15章の規制に従うこと。
: 毒劇物法に定められる運送方法に従う。
輸送又は輸送手段に関する特別安全対策 : 取扱いの前に安全指示、SDS及び応急処置法を読むこと。
: 車両に積載する場合、酸類から遠ざける。また有機薬品の容器の
上に積み重ねてはならない。
: 5t以上の量を車両で運搬する場合は、交換運転者、標識、保護具、
緊急時の措置を記載した書面等、毒劇物取締役法により
定められた事項を順守すること
: ローリー又はコンテナの場合、充填又は払出時は保護眼鏡、
ゴム手袋、保護衣等の保護具を着用し、充填又は払出パイプ中に
液を残さないようにする。
: 運搬に際しては、容器を40°C以下に保ち、転倒、落下、損傷が
ないように注意すること。
応急措置指針番号 : 154

15.適用法令

労働安全衛生法

通知対象物

水酸化ナトリウム : 別表第9 政令番号 319 48%

表示対象物

水酸化ナトリウム 48%

毒劇及び劇物取締法

特定毒物

: 該当せず。

毒物

: 該当せず。

劇物

: 水酸化ナトリウムを含有する製剤

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

第一種特定化学物質

: 該当せず。

第二種特定化学物質

: 該当せず。

監視化学物質

: 該当せず。

優先評価化学物質

: 該当せず。

届出不要物質

: 該当せず。

化学物質排出把握管理促進法

特定第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

: 該当せず。

第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

: 該当せず。

第二種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

: 該当せず。

船舶安全法・危規則

: 腐食性物質

航空法・施行規則

: 腐食性物質

火薬類取締法

: 該当せず。

海洋汚染防止法

水酸化ナトリウム

Y類

その他の情報

【外国為替および外国貿易管理法】輸出貿易管理令別表第一
第16項 キャッチオール規制品目
【食品衛生法】食品添加物(指定添加物)規則別表第1
【港則法】その他の危険物・腐食性物質

16. その他の情報

引用文献

ACGIH Documentation of the Threshold Limit Values and Biological Exposure Indices
HSDB® – Hazardous Substances Data Bank
IARC発がん性評価モノグラフ
National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens
日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告
日本化学工業協会 GHS対応ガイドライン、2019年6月
JIS Z 7252:2019 GHS に基づく化学品の分類方法
JIS Z 7253:2019 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、
作業場内の表示及び安全データシート(SDS)
日本ソーダ工業会(JSIA) GHS対応SDS 2016年12月改訂

本製品は工業用品であり、メディカル用途を想定して開発・製造を行ったものではありません。

・記載内容の取扱い

SDSは、事業者を対象とした文書です。

全ての資料や文献を調査したわけではないため情報洩れがあるかも知れません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合には、出典等を良く検討されるか、試験によって確かめられることをお勧めします。

なお、記載のデータや評価に関してはいかなる保証もなすものではありません。また、記載事項は通常取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いをする場合には新たに用途・

用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。当製品の譲渡時には供給者のSDSを添付して下さい。